



関西国際空港、大阪国際空港 地震津波防災訓練について

地震、津波発生時の訓練を、下記のとおり実施します。11月5日(津波防災の日)に合わせて、今回は初めて関西国際空港と大阪国際空港で同時に地震、津波発生時の避難等の対応訓練を実施します。

記

- 実施日時 2015年11月5日(木) 9:00~12:00
- 実施場所 【関西国際空港】 T1、T2、エアロプラザ、鉄道駅、展望ホール、国際貨物地区
【大阪国際空港】 旅客ターミナルビル

- 目 的

関西国際空港、大阪国際空港において、空港従業員の防災意識の向上を図り、地震、津波発生時の対応に関して共通意識を持って避難行動を実践できるよう、両空港において地震、津波防災訓練を実施する。また南海トラフ地震に伴い発生することが想定されている津波に対し、関西国際空港では、これに対応する防潮壁を設置する工事を実施中である。防潮壁築造に合わせて、現在の「関西国際空港津波避難計画」を見直すとともに、避難から復旧計画までをまとめた「地震・津波BCP」を策定中である。本訓練では新たに策定中の「地震・津波BCP」の検証も行う。

【地震・津波BCP】

関西国際空港、大阪国際空港における地震および津波災害に対して、人命の保護、被害の軽減、空港機能の早期復旧を目的とし、新関西国際空港(株)が地震、津波発生時に取るべき行動を定める。

※本訓練で検証を行った後、制定予定

- 参加人数
【関西国際空港】 約 100 社 機関 (地震、津波訓練:約 900 名)
【大阪国際空港】 約 35 社 機関 (地震訓練:約 500 名)

- 訓練想定

緊急地震速報の受信により館内に非常放送が流れ、事業者(従業員)等は周囲に対し注意喚起を行うとともに、自身の安全行動を行い地震に備える。その後、震度6弱の地震が発生し、約60秒間の揺れが継続する。地震発生後、館外避難し、気象庁からの大津波警報発表を受けて、関西国際空港においては2期空港島に避難する。

- 訓練内容
別紙参照

- その他
緊急時の際は、訓練を中止する場合があります。





【目的】

- ① 今般策定中の「地震・津波BCP」についての検証を行う。
- ② 空港内の従業員の防災意識の向上を図り、地震、津波発生時の対応に関して共通意識を持って避難行動を実践できるよう地震津波防災訓練を実施する。
(※関西空港と伊丹空港で同時に訓練実施)

【日時】

2015年 11月 5日 (木) 9:00~12:00

- 9:00 - 10:30 現場訓練
- 11:00 - 11:30 情報連絡訓練

【訓練のタイムスケジュール】

- | | | |
|--------|------------------|------------------------------------|
| 9:00~ | I. 地震訓練 | ⇒ 館外退避、対策本部への参集 |
| 9:30~ | II. 津波避難訓練 (KIX) | ⇒ 大津波警報発表時の避難場所への避難
(2期島への避難訓練) |
| 10:00~ | III. 避難者対応訓練 | ⇒ 館内の安全確認、再入館、備蓄品の配布 |
| 11:00~ | IV. 情報連絡訓練 | ⇒ 関係機関との情報連絡 |
| 11:30~ | 講評・意見交換 | |
| 12:00 | 訓練終了 | |

訓練の流れ（全体）



初動対応

1. 館外退避、対策本部への参集

2. 2期島への津波避難 【KIX】

3. 館内の安全確認・再入館

4. 避難者のケア（備蓄品の配布）

5. 運用再開の調整・関係機関との連携

6. 防災拠点としての調整

避難者対応

復旧・
運用再開

I. 地震訓練における避難場所



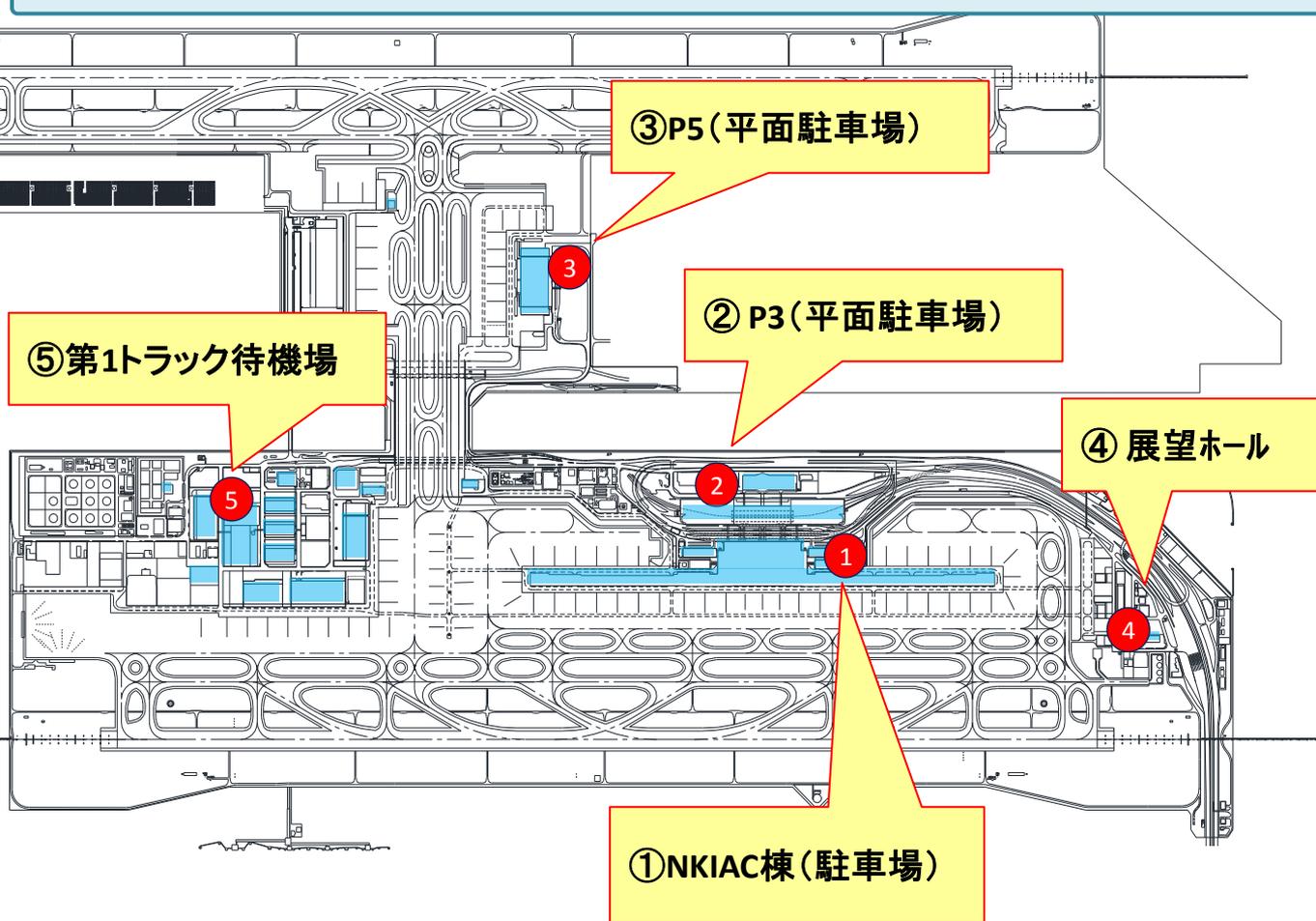
● 一時避難場所

(9:00~)

・地震発生後、避難訓練参加者は各エリアにおいてシェイクアウト訓練を実施後、誘導員の指示に従い、館外の避難場所へ避難する。

【対象施設】

- ① 第1ターミナルビル
⇒NKIAC棟(駐車場)
- ② 複合管理棟、駅・立駐
⇒P3
- ③ 第2ターミナルビル
⇒P5
- ④ 展望ホール
⇒展望ホール駐車場
- ⑤ 国際貨物地区
⇒第1トラック待機場



I. 地震訓練における避難場所

【ITM】



● 避難場所

(9:00~)

- ・地震発生後、避難訓練参加者は各エリアにおいてシェイクアウト訓練を実施後、誘導員の指示に従い、館外の避難場所へ避難する。

平面駐車場

【対象施設】

旅客ターミナルビル 北側 (JAL側) 一般エリア、クリーンエリア
旅客ターミナルビル 南側 (ANA側) 一般エリア、クリーンエリア

Ⅱ. 津波避難訓練（2期島への避難）

【KIX】



(9:30~)

- ・大津波警報の発表に伴い、避難訓練参加者は各一時避難場所から誘導員の指示に従い、2期島へ避難する。
- (・展望ホールの訓練参加者は館内の安全確認後、展望ホール5階のオープンデッキに避難する。)

イメージ



■大津波警報発表時の 避難場所

避難場所①

⇒2期島(そらぱーく)

避難場所②

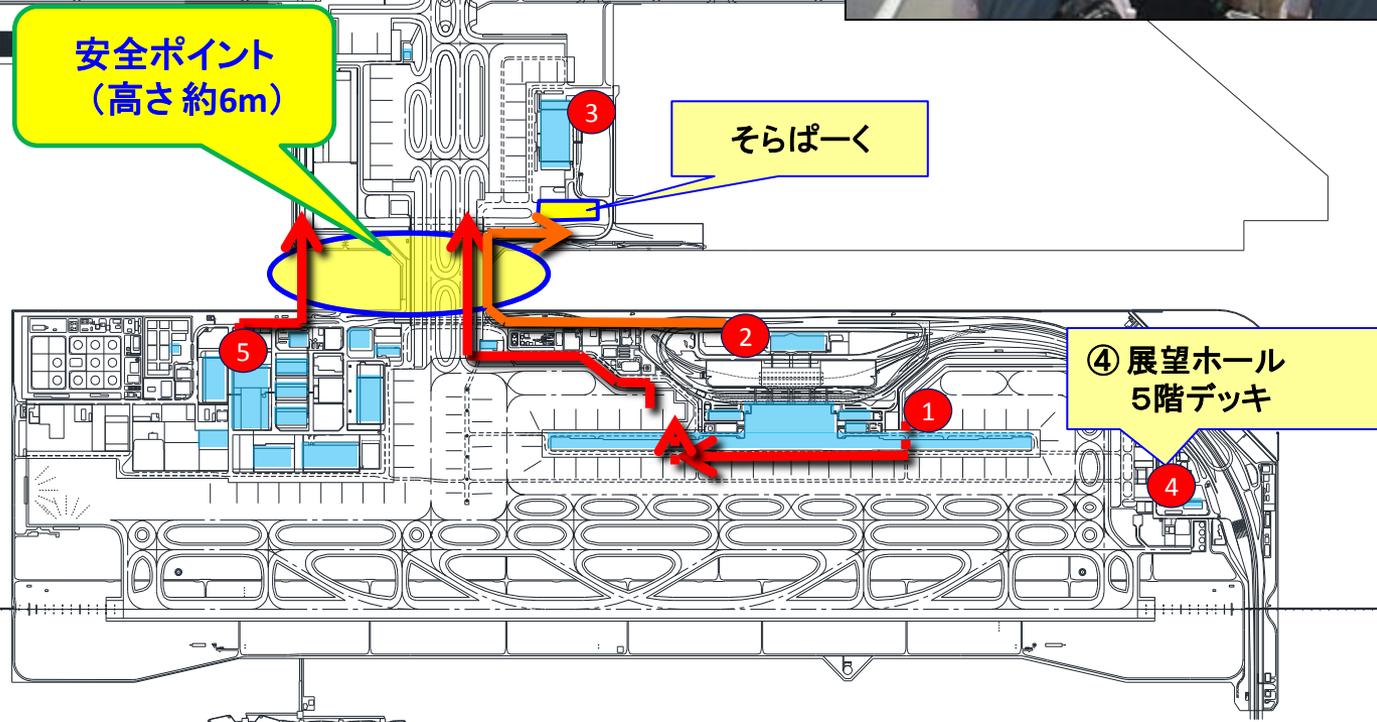
⇒2期島(そらぱーく)

避難場所④

⇒展望ホール5階デッキ

避難場所⑤

⇒2期島(貨物地区)



Ⅲ. 避難者対応訓練 (館内の安全確認、備蓄品の配布)



(10:00~)

- 【KIX】:** 第2ターミナルビル、展望ホールにおいて館内の安全確認後、再入館。その後、第2ターミナルビルにおいては備蓄品の配布訓練を実施する。
- 【ITM】:** 北ターミナル到着ビル1階において館内の安全確認後、再入館し、備蓄品の配布訓練を実施する。



館内の安全確認

イメージ



備蓄品の配布

別途、公設消防も
対応訓練を実施



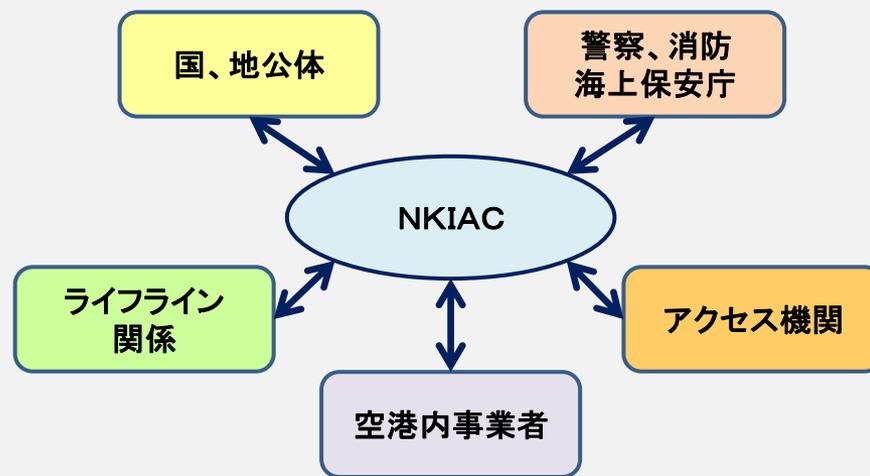


IV. 情報連絡訓練（関係機関との情報連絡）

(11:00~)

- ・対策本部に戻った後、各部より被害状況や避難者への対応状況の詳細報告を実施。
- ・復旧・運用再開および防災拠点を選定した関係機関との情報連絡を実施。

イメージ



【報告・調整内容】

- ・社員の安否状況
- ・避難誘導の状況、負傷者の状況
- ・施設の被害状況
- ・空港運用再開の調整
- ・広域医療搬送の受入、緊急物資輸送の受入